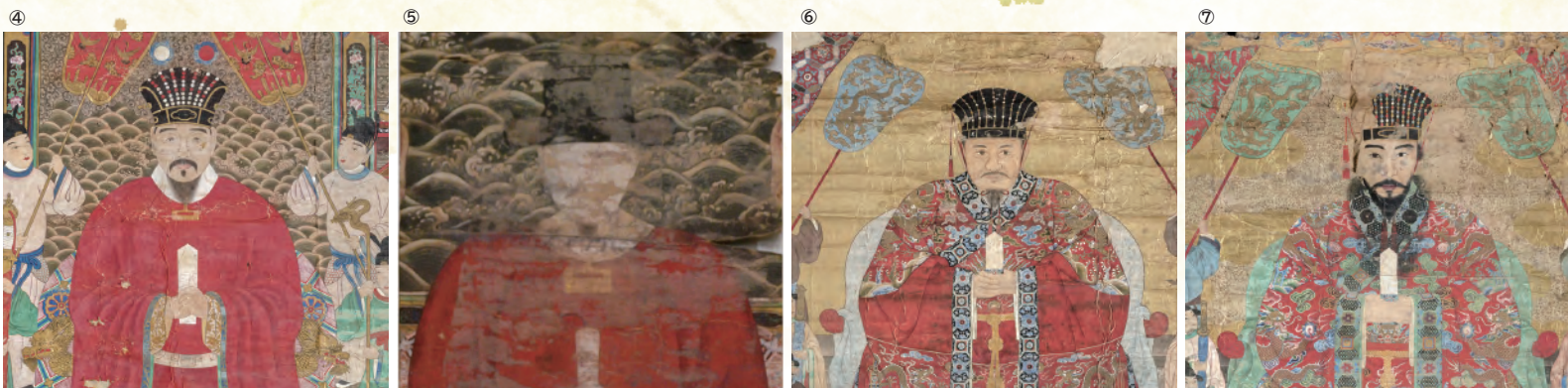




文化財返還の取り組みと帰ってきた御後絵



①流出文化財返還呼びかけのパンフレット（1995年）表紙 ②JIVLP訪問時における厨子簀（蓋）返還式（米国海兵隊博物館） ③FBI訪問後の記念撮影（左端が真栄平房敬氏）②、③2000年撮影
④四代国王尚清王御後絵 ⑤国王名不明御後絵 ⑥十三代国王尚敬王御後絵 ⑦十八代国王尚育王御後絵 ④～⑦すべて部分（東京文化財研究所 城野誠治撮影、沖縄県教育庁文化財課提供）

2025.

11.15_土

入場無料

14:00～16:00
(開場 13:30)

講師 萩尾 俊章 氏（沖縄民俗学会会長）
濱地 龍磨 氏（沖縄県教育庁文化財課主任）

会場 沖縄県立博物館・美術館
3F 講堂

受付 当日先着（定員 200 名）

お問合せ 098-941-8200
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

主催 沖縄県立博物館・美術館

住民を巻き込んだ激しい地上戦の中で、多くの尊い命とともに町並みや風景だけでなく、数々の貴重な文化財も失われました。沖縄戦の混乱の中、琉球王家ゆかりの美術工芸品等の文化財が米国へ持ち出されました。これらの流出した沖縄の文化財返還の取り組みと、2024 年に米国から帰ってきた国王の肖像画「御後絵（おごえ）」について講演します。

【キーワード】#文化財返還 #御後絵 #流出文化財 #沖縄戦

※駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

※席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。

※会場内は空調の影響で寒くなる場合があります。



【講師】萩尾 俊章（はぎお としあき） 沖縄民俗学会会長

1957 年長崎県生まれ。沖縄県立高等学校の教諭を経て、沖縄県立博物館学芸員、沖縄県教育庁文化財課長等を務めた。2000 年に真栄平房敬氏らとともに、沖縄の流出文化財に関する調査研修プログラムに参加。FBI 等への盗難美術品ファイル登録に取り組む。



【講師】濱地 龍磨（はまじ たつま） 沖縄県教育庁文化財課主任

1992 年大阪府高槻市生まれ。大学から沖縄で琉球史を学ぶ。沖縄県教育庁文化財課史料編集班史料編集業務員を経て、2023 年 12 月より文化財班主任に着任。2024 年 3 月の返還文化財受け入れ、分析事業・修理事業を担当。

あなたの沖縄に出会う

沖縄県立博物館・美術館
Okinawa Prefectural Museum and Art Museum



【開館時間】9:00-18:00（金・土は 20:00 まで）

【休館日】月曜日（月曜祝日の場合は翌平日休館）